



学校だより

令和8年1月30日(金)

特別号(学校評価)



令和7年度 さいたま市立神田小学校 学校評価 結果

令和7年度学校評価にご協力いただき、心より御礼を申し上げます。保護者からのアンケートにつきましては、149家族にご回答をいただきました。誠にありがとうございます。保護者アンケート、児童アンケートの結果を踏まえ、教職員で回答内容の分析と考察、課題について話し合いました。そして、この結果を基に、次年度の学教育活動を計画していきます。学校・家庭・地域が一体となってつくり、子どもたちのウェルビーイング（多様な幸せ）を実現する学校を目指していきたいと考えております。今後ともご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

【保護者アンケート集計結果】

※ 回答は、「1」…そう思う 「2」…概ねそう思う 「3」…ややそう思わない 「4」…そう思わない

No.	質問	年度	1	2	3	4	前年度比	
1	お子さんは、難しいことでも失敗を恐れないで挑戦することができる。	R7	20%	60%	18%	2%	5%▲	学校経営に関すること
		R6	19%	56%	25%	0%		学校経営に関すること
2	お子さんは、思いを自分のことばで表現することができる。	R7	26%	54%	19%	1%	7%▲	あいさつに関すること
		R6	23%	50%	25%	7%		学級・学年経営に関すること
3	お子さんは、いろいろな人に進んであいさつができる。	R7	25%	53%	17%	5%	3%▲	学級・学年経営に関すること
		R6	27%	47%	22%	4%		授業に関すること
4	お子さんは、友達と仲よく学校生活を送っている。	R7	45%	53%	1%	1%	1%▼	生徒指導に関すること
		R6	55%	45%	1%	0%		教育相談に関すること
5	先生方は、子どものよさを見つけ伸ばそうとしている。	R7	53%	40%	6%	1%	7%▼	家庭との連携に関すること
		R6	54%	46%	0%	0%		食育に関すること
6	先生方は、子どもたちが分かりやすい工夫して授業を行っている。	R7	55%	43%	1%	1%	1%▼	保健指導に関すること
		R6	55%	44%	1%	0%		施設・設備に関すること
7	お子さんは、集団生活に必要なルールやマナーを守ることができる。	R7	46%	49%	5%	0%	3%▲	家庭との連携に関すること
		R6	38%	54%	8%	0%		食育に関すること
8	先生方は、子どもの悩みやトラブルに適切に対応している。	R7	50%	44%	5%	1%	2%▼	保健指導に関すること
		R6	51%	45%	3%	1%		施設・設備に関すること
9	お子さんは、学校での出来事(授業や学校の様子など)について、家庭で話をしている。	R7	37%	48%	13%	2%	3%▼	家庭との連携に関すること
		R6	39%	49%	12%	0%		食育に関すること
10	お子さんは、「食」について考え、「食」を大切にしようとしている。	R7	40%	50%	9%	1%	↔	保健指導に関すること
		R6	39%	51%	7%	3%		施設・設備に関すること
11	先生方は、病気やけがの予防などの指導を適切に行っている。	R7	52%	45%	3%	0%	2%▼	家庭との連携に関すること
		R6	45%	54%	1%	0%		食育に関すること
12	教室や廊下などの清掃が行き届いている。また、施設・設備が整備されている。	R7	34%	53%	12%	1%	2%▼	保健指導に関すること
		R6	39%	50%	8%	3%		施設・設備に関すること

「前年度比の見方」▲…前年度よりも肯定的な回答が増えている。 ▼…前年度よりも肯定的な回答が減っている。

令和6年度と比較して、ポイントの増減が大きかったもの

▲お子さんは、難しいことでも失敗を恐れないで挑戦することができる。(5%上昇)

▲お子さんは、思いを自分のことばで表現することができる。(7%上昇)

▼先生方は、子どものよさを見つけ伸ばそうとしている。(7%減少)

【児童アンケート集計結果】

※ 回答は、「1」…そう思う 「2」…概ねそう思う 「3」…ややそう思わない 「4」…そう思わない

No.	質問	年度	1	2	3	4	前年度比	
1	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦することができる。	R7	42%	43%	11%	3%	1%▼	学校経営 に関するこ
		R6	44%	43%	11%	2%		学校経営 に関するこ
2	思ったことや考えたことを自分の言葉で伝えることができる。	R7	36%	42%	15%	7%	2%▼	あいさつ に関するこ
		R6	38%	42%	15%	5%		あいさつ に関するこ
3	地域の方、保護者、先生、友達にあいさつをよくしている。	R7	76%	19%	3%	2%	4%▲	学級・学年経営 に関するこ
		R6	52%	39%	7%	2%		学級・学年経営 に関するこ
4	友達と仲よく学校生活を送っている。	R7	69%	28%	2%	1%	2%▲	授業に に関するこ
		R6	75%	20%	4%	1%		授業に に関するこ
5	先生たちは、がんばったことをほめてくれる。	R7	65%	30%	4%	1%	1%▲	生徒指導に に関するこ
		R6	67%	27%	5%	1%		生徒指導に に関するこ
6	先生たちの話や授業は、分かりやすい。	R7	58%	32%	7%	3%	7%▼	教育相談 に関するこ
		R6	70%	27%	2%	1%		教育相談 に関するこ
7	毎月の生活目標や交通ルールを守って生活している。	R7	45%	35%	12%	7%	13%▼	家庭との連携 に関するこ
		R6	58%	35%	5%	2%		家庭との連携 に関するこ
8	困ったときに先生やおうちの人相談している。	R7	53%	37%	8%	3%	12%▲	食育 に関するこ
		R6	46%	32%	18%	4%		食育 に関するこ
9	学校であったことを家の人相談している。	R7	60%	35%	4%	1%	6%▲	保健指導 に関するこ
		R6	57%	27%	10%	5%		保健指導 に関するこ
10	食べることの大切さ、楽しさを知っている。	R7	69%	25%	3%	3%	2%▼	施設・設備 に関するこ
		R6	72%	23%	3%	2%		施設・設備 に関するこ
11	病気やけがに気を付けて生活している。	R7	55%	39%	5%	1%	4%▲	「前年度比の見方」▲…前年度よりも肯定的な回答が増えている。 ▼…前年度よりも肯定的な回答が減っている。
		R6	58%	32%	7%	3%		「前年度比の見方」▲…前年度よりも肯定的な回答が増えている。 ▼…前年度よりも肯定的な回答が減っている。
12	進んで係活動や委員会活動、そうじをしている。	R7	58%	27%	10%	5%	8%▼	「前年度比の見方」▲…前年度よりも肯定的な回答が増えている。 ▼…前年度よりも肯定的な回答が減っている。
		R6	58%	35%	4%	3%		「前年度比の見方」▲…前年度よりも肯定的な回答が増えている。 ▼…前年度よりも肯定的な回答が減っている。

▲…前年度よりも肯定的な回答が増えている。 ▼…前年度よりも肯定的な回答が減っている。

令和 6 年度と比較して、ポイントの増減が大きかったもの

▲困ったときに先生やおうちの人相談している。(12%上昇)

▲学校であったことを家の人相談している。(6%上昇)

▼毎月の生活目標や交通ルールを守って生活している。(13%減少)

保護者アンケート・児童アンケートとともに、令和 6 年度より肯定的な回答が上昇した項目

No.	項目	保護者アンケート			児童アンケート		
		R07	R06	増減	R07	R06	増減
3	地域の方、保護者、先生、友達にあいさつをよくしている。	78%	74%	4%▲	95%	91%	4%▲

保護者アンケート・児童アンケートとともに、令和 6 年度より肯定的な回答が下回った項目

No.	項目	保護者アンケート			児童アンケート		
		R07	R06	保護者アンケート増減	R07	R06	児童アンケート増減
6	先生たちの話や授業は、分かりやすい。	98%	99%	1%▼	90%	97%	7%▼
12	進んで係活動や委員会活動、そうじをしている。	87%	89%	2%▼	85%	93%	8%▼

<肯定的な記述をいただいた内容>

- ・5月から登校渋りがあり、遅刻して学校でも泣くことが多く、大変お手数をお掛けしましたが、担任の先生をはじめ多くの先生に優しく声を掛けいただき、細やかな対応をしていただいたおかげで今は登校班で毎日登校できています。ありがとうございます。
- ・相談事などあったら親身になり聞いていただき、感謝しています。日常のささいな事も連絡帳に記載した際は丁寧に返事が来ており、そこも嬉しいポイントだと思います。
- ・毎朝、「いってらっしゃい」と安心して学校へ送り出せるのは見守って下さる地域の方々や先生方のおかげだと日々感じております。いつもありがとうございます。
- ・いつも子どもの気持ちに寄り添い、援助していただき、本当にありがとうございます。先生方の優しさのおかげで、学校も先生方も大好きなようです。家族みんなで、「神田小でよかった！」と、よく話しております。
- ・子どもたちが先生方を信頼していて、とても良い関係であることを授業参観などに行くたびに感じています。
- ・子どもたちが「今日、学校で先生に褒められたよ」と報告してくる事が度々あります。どんな小さな事でも、当たり前に思えるような事であっても、子供は先生に褒められた事を「今日の良かった事」と振り返り、誇りに感じているようです。親としてもそういう出来事はとても嬉しく思います。
- ・先生方が、子供達だけでなく保護者にも明るくはつらつと挨拶をして下さり、いつも元気を頂いています。職員室に用事がある時も、お忙しい中笑顔で対応して頂き、大変感謝しております。
- ・授業やクラスで楽しかったこと、給食のこと、図書室でのおはなし、保健室でお世話になったこと等、色々な話を娘からよく聞いております。行事では先生方の子ども達に対して優しい様子を見ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。色々な先生方に見守られながら毎日楽しい学校生活を送っているようで、安心して毎日送り出せます。本当にありがとうございます。
- ・先日、校外学習の実行委員をやりました。先生方が、臨機応変に対応したことを褒めてくださって息子も自信がついたと思います。本人は引っ込み思案なのかななかなか進んでやるのは難しい時もありますが、これからもっと挑戦してもらえたたらと思っています。
- ・子どもが先生と遊んだり話しをしたりして過ごす時間が楽しいと言っています。お忙しい中、子どもへの時間を作ってください本当に感謝しております。
- ・給食の時間がとても苦手で学校行きたくない何度も泣いたりしていたのですが、担任の先生が親身になり優しく声かけしてくれたり、苦手な給食の時は減らしても大丈夫だと安心させてくれ、減らした後に食べれそうだったらおかわりしてもいいよと何度も伝えてくれて最近は泣かずに行ける事が増えてきました。
- ・PTAをやらせていただいて、担任の先生は勿論、校長先生や教頭先生とも関わることが出来て嬉しく思っています。子ども達のため、学校のためという先生達の想いが伝わってくるので頼もしく思っています。
- ・家の草刈りは面倒くさいようですが学校で先生方や全校生徒や親も参加の草刈りは楽しかったと言っていました。学校の周りも綺麗になり子供も楽しめ良かったと思います。

<学校をよりよくするための提案や要望など>

- ・家庭科ボランティアを通して、先生の大変さがよくわかりました。他の科目や生活の中の時間でも、先生はもっと保護者の協力を求めていいのではないかと思います。参加できる人は限られると思いますが、もっと幅広い分野でボランティアを募ってもいいと思います。
- ・親が見えないところを面談やふとお会いした時に教えてもらえるとありがたいなと思います。
- ・怪我やトラブルの後の事後報告がない。(具体的にどう子どもに伝えたかなど。)
- ・言葉遣いの乱れが気になっています。子供同士の会話も乱暴な言葉が多々使用されるなど気になります。綺麗な日本語とは何かを学校で教えて頂き、家庭でも注意の声がけをするなどして少しでも正しい言葉遣いを日常的にできるようにしていけたらと思っております。
- ・集金方法が変わった事は少し前の集金袋での回収の方が良かったなと思いました。周りでも期限を忘れてしまったとの話も聞きました。
- ・ランドセルのキーホルダーについてですが、小さいものであれば付けても良いというルールだと嬉しいと、子どもが話していました。
- ・清掃を全般的に子どもに任せるのは変えた方が良い。大人がやり方と手本を見せてからやらせて判断するなら良いと思う。トイレ掃除は感染症などの視点からも大人が行ってほしいです。
- ・携帯の使い方、YouTubeなどの危険性、使用時間などを家でも伝えているが学校でもよく話してもらえると助かります。
- ・オンラインゲームの使い方。ゲームで嫌なことをされたから、怒鳴りに家に来たり、友達登録をブロックしたりと、安易な行動が起きています。それが、イジメの助長にならないか懸念しています。
- ・自転車使用時のヘルメットの着用の呼びかけはしないのでしょうか。
- ・登校班は1列に静かに歩くといわれていますが、2列になってずっと話している時もあります。

学校評価アンケートの結果を受けて

今年度のアンケートでは、保護者の皆さまから記述にて温かいお声を多くいただきました。特に、友達との関わりや学級での安心感、先生との関係づくりといった「子どもが毎日を前向きに過ごすための基盤」となる部分を評価してくださいり、学校として大変励みに感じております。

一方で、保護者と子どものアンケート結果から学習内容の「わかりやすさ」や「子どもの良さを伸ばす」などに課題が見られ、昨年度から数値が下がった項目もありました。中でも、児童アンケートの生活目標や交通ルールに関する項目や、係活動や清掃への意欲についての項目も同様に下がっています。日々の活動がルーティン化しやすい活動は、役割の“意味づけ”や達成感が薄れやすく、意識が下がる傾向があるため、次年度の課題として考えていきます。

また、保護者と子どもの認識に差が見られた項目もあります。例えば、「あいさつ」や「家庭での会話」は、児童は高く自己評価しているのに対し、保護者側ではやや低めに評価されています。これは、子どもが実際には行っている行動や感じている学びが、家庭に十分に伝わっていない可能性を示唆しています。逆に、生活面や学習面の一部では、保護者が高く評価しているのに児童の実感が低い領域もあり、「家庭と学校での捉え方のズレ」が生じています。こうしたズレは、学校での取り組みや子どもの頑張りが見えにくい時に起こりやすいため、情報の透明性や共有の工夫が欠かせません。

そのため、次年度は「学校生活の“見える化”の強化と成果の発信」「役割の目的や価値の明確化、達成感のある仕組みづくり」「家庭との情報共有の充実」を目指していきたいと考えています。

保護者の皆さまと協力しながら、子どもたちが「チャンスにチャレンジしてチェンジする」ことの良さを実感し、自信を持って生活できる学校づくりを進めてまいります。今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。